

# 業績リスト

2021年12月22日現在

大妻花子

〒102-8357 東京都千代田区三番町12

TEL 03-5275-0000 e-mail [otsuma.hanako@home.ne.jp](mailto:otsuma.hanako@home.ne.jp)

※論文（学術論文、ジャーナル等）、Misc（紀要等）、講演・口頭発表等（国際学会予稿集、国内学会予稿集等）、書籍等出版物、Works（作品等）の書式：著書・学術論文等名称：著者名（単・共）：発行所・発表雑誌等 名称：Vol., No., pp. ○-○, 西暦. 【査読付きは先頭に○】

## ○ 論文（学術論文、ジャーナル等）

○1. 家事労働における身体負担に関する研究：大妻花子，渋谷直子（共）：東京家政学会学会誌：Vol. 11, No. 4, pp. 25-34, 2013.

## ○ Misc（紀要等）

1. 高等教育における環境教育のフレームワーク：大妻花子（単）：大妻女子大学家政学紀要：Vol. 25, pp. 10-21, 2017.

## ○ 講演・口頭発表等（国際学会予稿集、国内学会予稿集等）

○1. 家庭におけるインターネット：大妻花子（単）：東京家政学会平成25年全国大会予稿集：pp. 120-121, 2013.

2. 携帯電話に関するセキュリティ意識：大妻花子（単）：千代田区生涯学習センター：2016.

3. ライフスタイルと環境について解説：豊田幸子，大久保敏江，大妻花子，他5名（共）：千代田大学出版 家政学事典：pp. 95-101, 2014.

## ○ 書籍等出版物

1. ビジネスとプレゼンテーション：大妻花子，渋谷直子，本田敦（共）：千代田大学出版：1章コミュニケーション理論 pp. 1-25, 3章プレゼンテーションの方法 pp. 65-89, 2010.

2. アパレル産業の物流コンセプト：大妻花子（単）：千代田大学出版：総ページ数212頁，2015.

## ○ Works（作品等）

1. 家政学部におけるデザイン教育の方向性：大妻花子，千代田学（共）：日本家政学研究所2014年度助成研究報告書：pp. 10-28, 2015.

## ○ 競争的資金等の研究課題

※競争的資金・受託研究等の研究課題の書式：資金制度・研究費名（配分機関等名）：研究課題名（研究代表者名）：役割（代表・分担）：研究期間

1. 科学研究費（基盤研究（C））：家事労働の生態負担に関する基礎的研究（豊田幸子）：分担（豊田幸子，渋谷直子，大妻花子）：2015-2017.

○ 産業財産権

※登録特許、公開特許など

○ 担当経験のある科目

※担当経験のある科目の書式：

授業名：組織 受講者：期間

1. ワーク・ライフ・バランス：大妻女子大学 社会情報学部 情報デザイン専攻 学部3年生：2012-2015.

○ 委員歴

※学部・学科運営委員など

1. 教務委員：大妻女子大学 社会情報学部：2012-2015.

○ 社会貢献活動

1. 30代からのワーク・ライフ・バランス（講演）：大妻花子：千代田区生涯学習センター：2012

○ 学術貢献活動

※学会運営委員など

以上